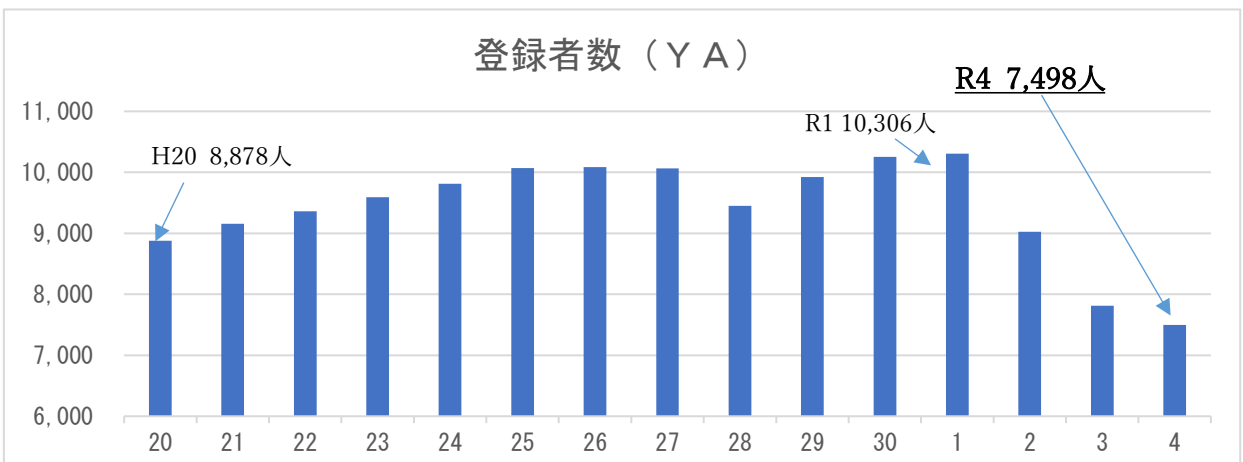
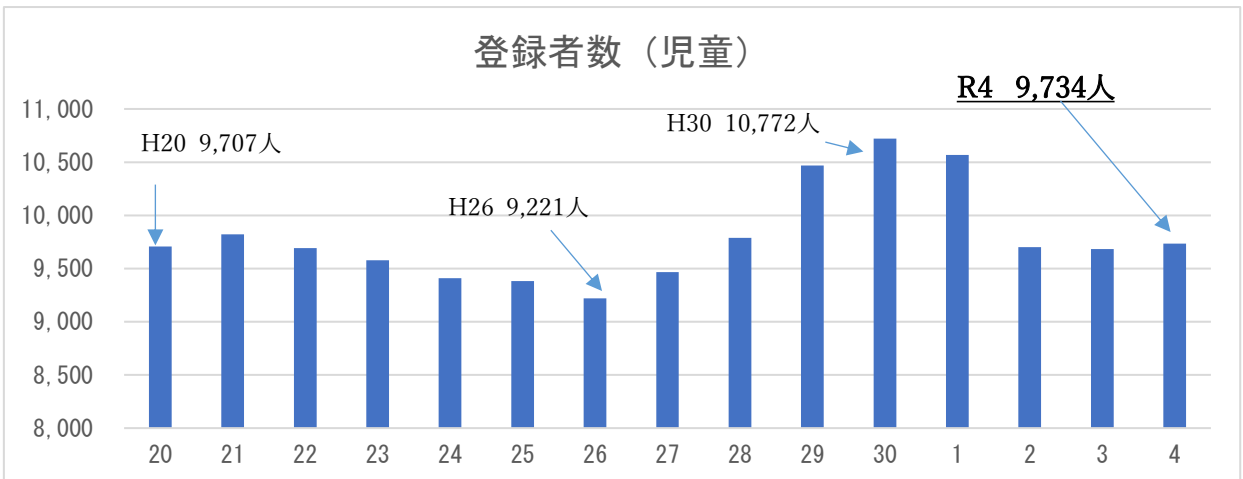
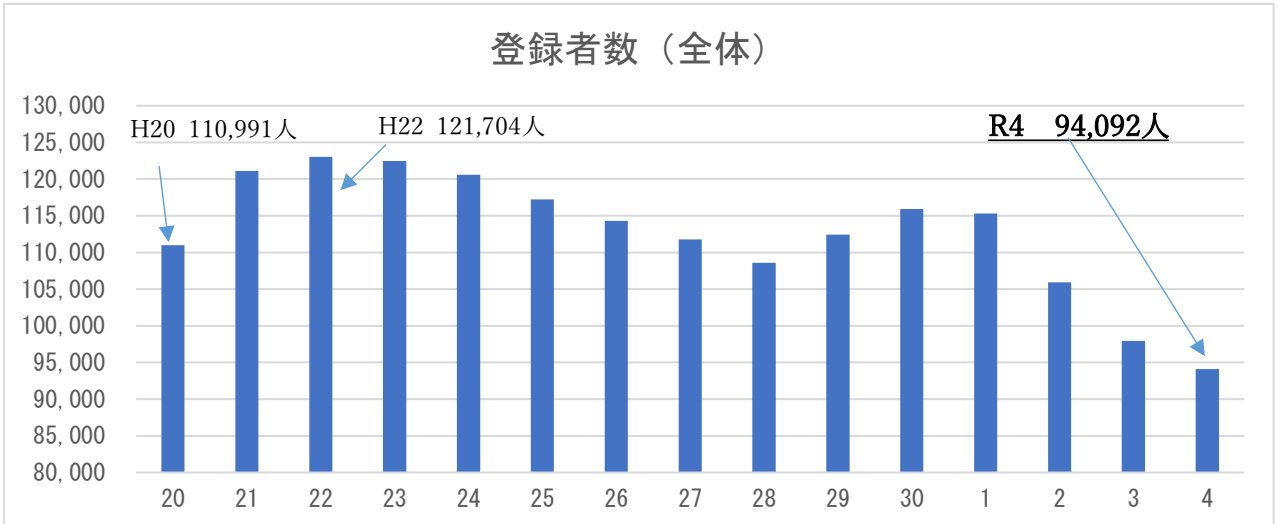


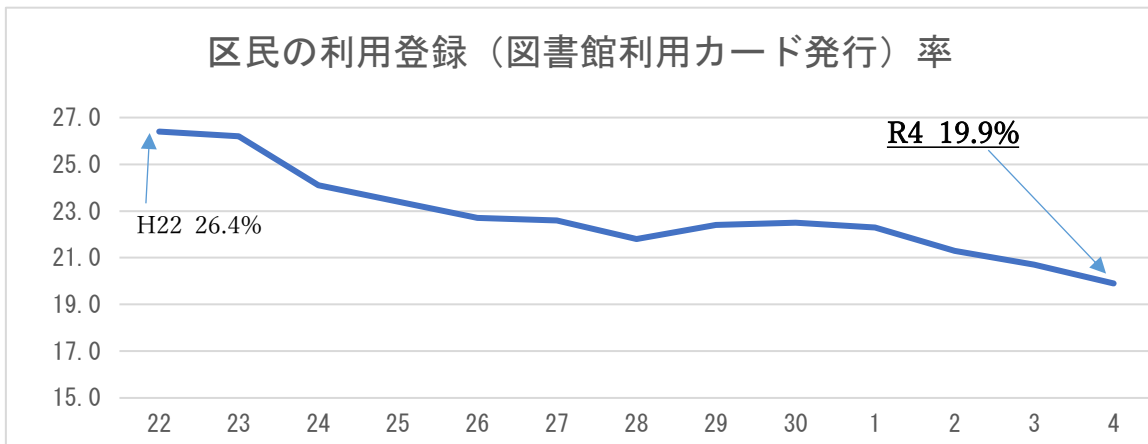
令和4年度区立図書館事業報告（区立図書館の運営状況）

1 登録者数

長期的には全体減少傾向にある。(平成22年度の約4分の3)

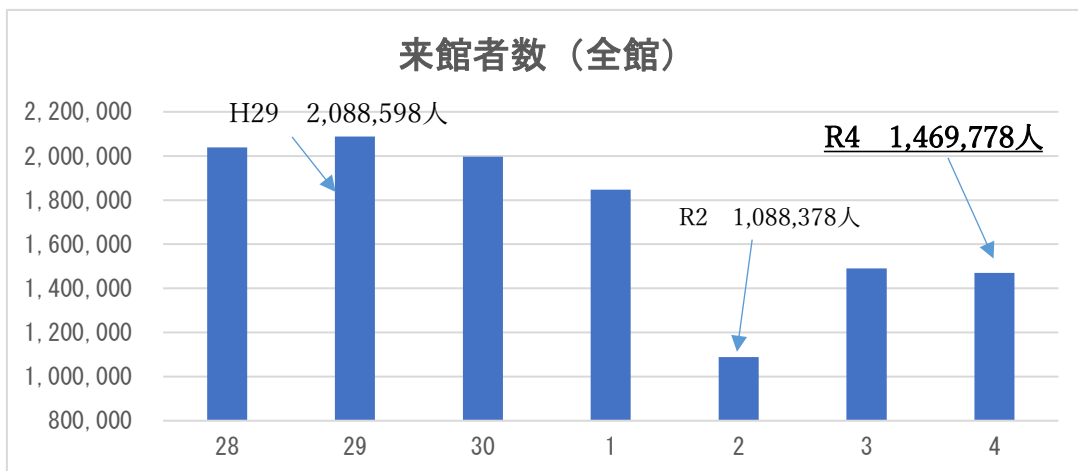
コロナ前はYA(13～19歳)、児童(12歳以下)が順調に伸びたが、コロナ後、YAの減少が著しい。





2 来館者数

平成 29 年度 208.8 万人の 7 割であり、貸出以外の利用（館内閲覧等）を中心にコロナ禍からの回復の鈍さがみられる。

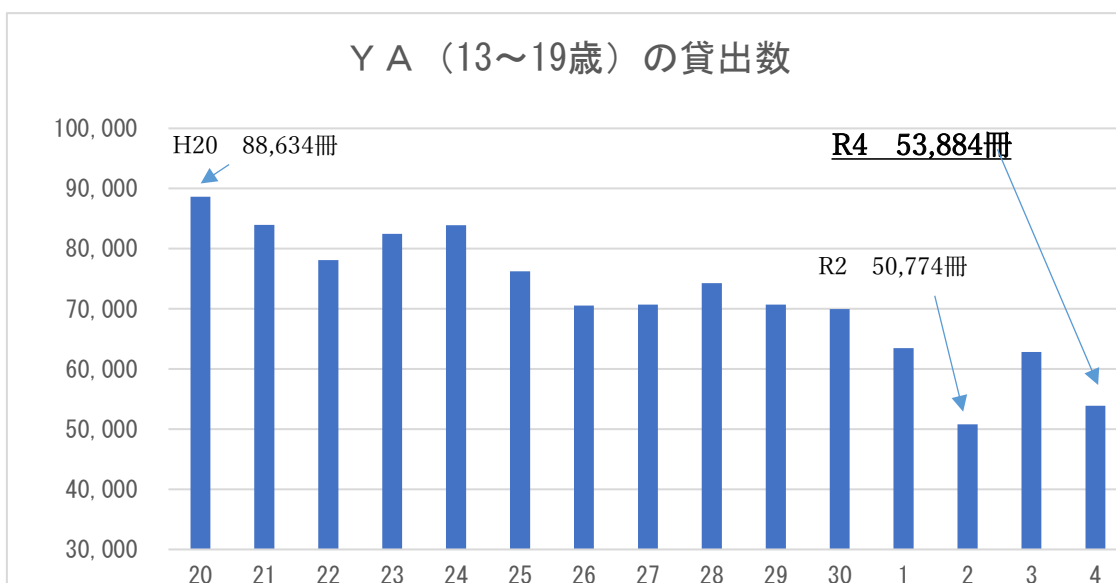
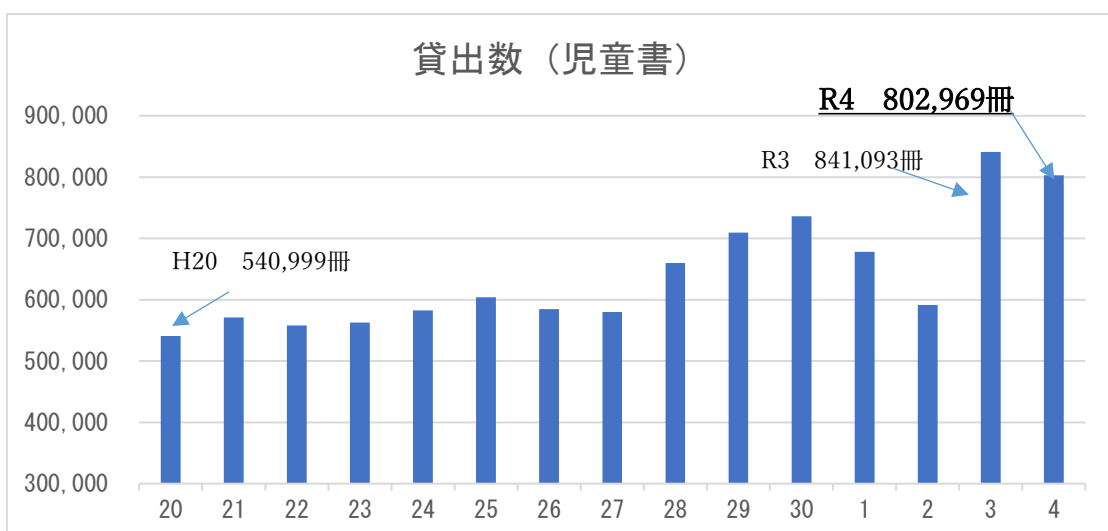
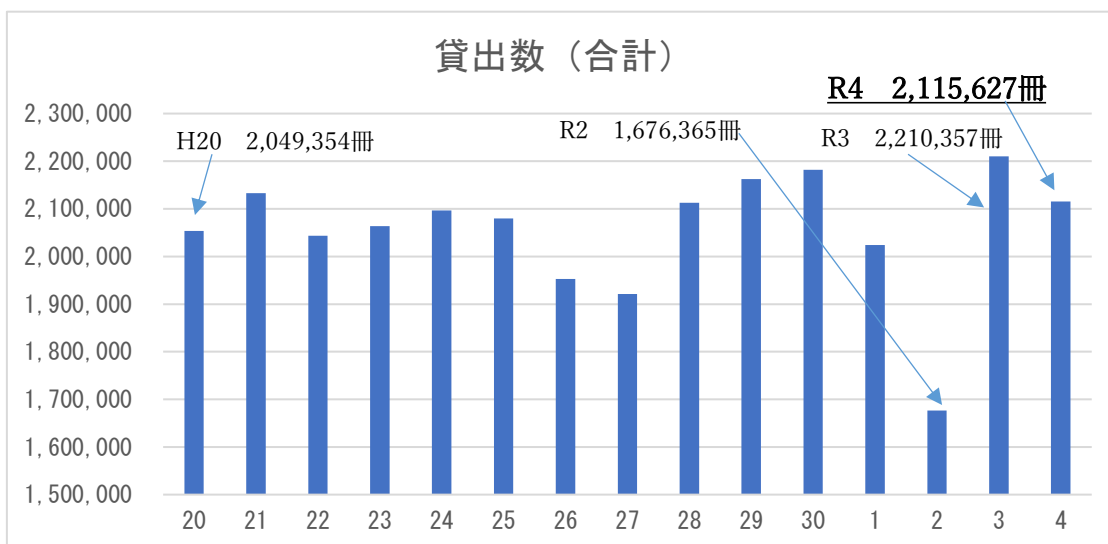


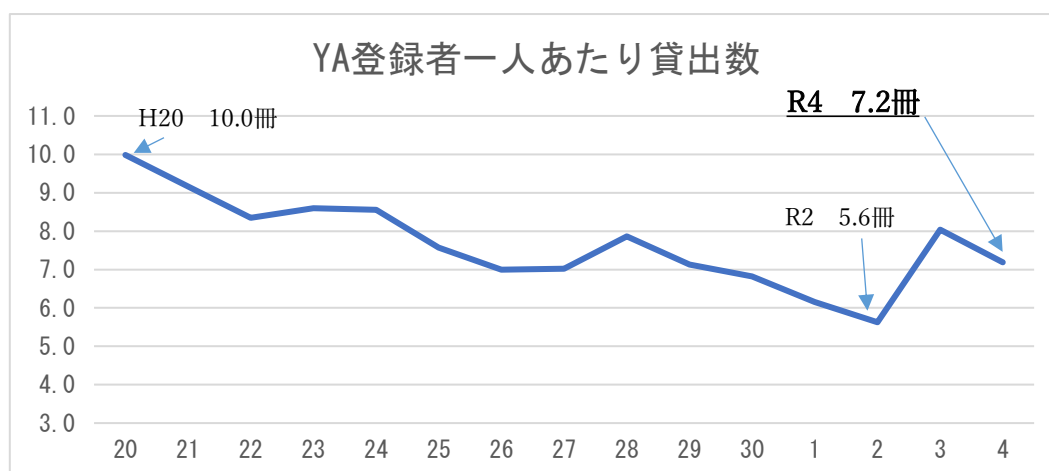
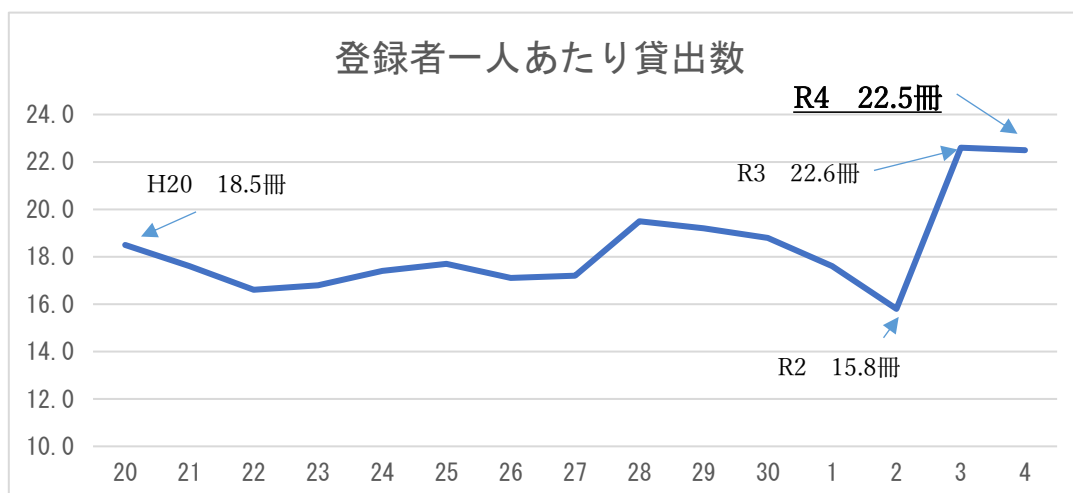
3 貸出数

登録者、来館者の減少に比べ、貸出冊数については底堅く推移しており、令和 3 年度貸出数は過去最高に達した。とりわけ児童書の伸びが著しい。図書館内で閲覧する形から、借りて自宅で読む形にシフトしている可能性がある。（貸出に占める予約の割合は H20 22.8%→R4 29.2%に上昇）

登録者数、来館者数が減少する中で、貸出冊数が伸びていることは、図書館を利用する者と、利用者しない者が二極化しているともいえる。（23 区全体でも同様傾向）

一方令和 4 年度の YA 層（13 歳～19 歳）の貸出数は 5 万 3 千冊強であり、平成 20 年度 8 万 8 千冊強から約 4 割の大幅減となっている。





4 図書館運営の点検・評価について

図書館法では、「図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずることよう努める」とされている。

また、「公立図書館運営の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示)においても、「市町村立図書館は、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、適切な指標に基づく目標、事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努める」旨規定されている。

この前提として、全館としては平成29年度以来6年ぶりの利用者アンケートを10月11日～31日に実施した。館内の用紙配布に加え、HPでのオンライン調査を行ったほか、児童(小学生)用アンケートは区立小学校の協力のもと実施した。(回収数3772件、うち小学生1217件)

これらの結果を踏まえ、図書館運営の状況を分析し、有識者等からなる区長の附属機関「豊島区図書館経営協議会」(令和6年4月～新期)に付し、意見等を今後の運営に反映することで、より効果的、効率的な図書館運営を実現する。